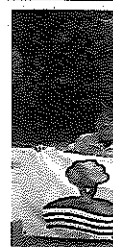




田口を流した。作業に先立ち「千戦」は、首都圏の水がめ東建設の田口孝一社で憩いの場の江戸川をき

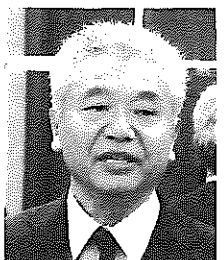
田建設▽福田シルル興業▽堀組▽松丸建設興業▽三徳建設▽立建建設



原各社が持ち寄った2小タンクカーで収集し、衛生組合の清掃

たした。ゴミゼロ運動は同市が5月30日「ゴミゼロ」の日に合わせ、その日に近い毎年日曜日に実施しているもの。初夏らしい陽気となった当日は、同支部のうち市内の15社

製品組合 単価1割アップを目指す 通常総会 全4議案を了承



承認。懇親会の冒頭で来賓らに報告した保美理事長は、国内経済がいさなき景気を超えたとされる

県コンクリート製品協同組合(保美善和理事長)は5月25日、千葉市中央区の京成ホテルリミナールで、第50回となる30年度の通常総会を開いた。議事後には関係者らを抱いた懇親会も開かれた。保美理事長は組合員らが力を合わせての現況の難局突破を訴えるなどした。

「平成最後の総会となり、慎重審議をお願いしたい」とする保美理事長のあいさつに続く議事では、全4議案を原案通り

が、内需産業やエンドユーザーには出番がないとした上で、現況は厳しいものの、その回復を待つばかりでなく実現していく力が肝心だとした。

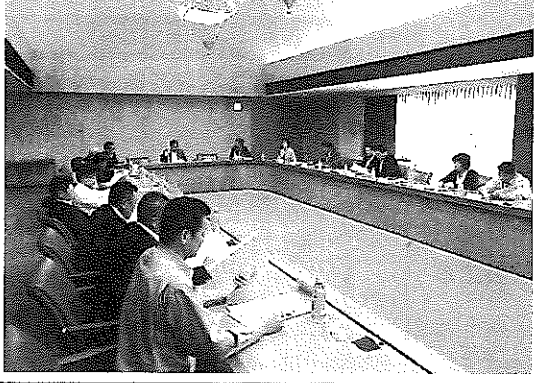


議事では4議案を承認

来賓からは県土整備部技術管理課の神田成人副課長があいさつ。県産技術の活用や普及を促す



土井理事長 案など 全3議 案が審議され



30年度の事業予定では、コンクリート圧送工事事業標準見積書(法定簿利費明示型)の完全実施や全圧送関圧連が主催する行事や安全・技術講習会、基幹技能者認定講習への参加などを進めたいと述べた。

組合 全圧連事業への参加を 通常総会 事業計画案を可決

県コンクリート圧送事業協同組合(土井豊実理事長)は、第39回となる30年度の通常総会を、千葉市中央区のみやぎ俱樂部で5月26日開催した

が主催する講習会などへの参加を継続することなどが可決された。

も原案通り承認している。議事前のあいさつで土

「ちば千産技術」が公募中であることを紹介した上で、県産製品の活用を工事発注時の共通仕様書にも盛り込むなど県の取り組みを紹介。また、ICTの活用や発注時期の平準化などとともに、フレキシブルコンクリート製品の使用を進めていることに理解を求めた。

来賓からは県中小企業団体中央会事務局の橋本健一社長兼経営支援部長も登壇。不安定な世界情勢が日本経済に及ぼす影響について、中小企業で

は先が読みづらいついとし、組合同士の連携により経営資源の共有化などを図ってほしいとしながら、ニーズに合致する施策があれば同中央会としても支援していきたいと述べた。会はその後、全国コンクリート製品協会関東支部の岡村清孝支部長の発声で全員が乾杯、会場で

組合員らは旧交を温めていた。同組合では30年度、市況調査や広告宣伝による販売価格の適正化や共同購買事業、共同受注販売事業、新製品の開発と技術および顧客満足度向上のための事業、組合固有の技術を活用した社会貢献事業などを進めていく。

たした。ゴミゼロ運動は同市が5月30日「ゴミゼロ」の日に合わせ、その日に近い毎年日曜日に実施しているもの。初夏らしい陽気となった当日は、同支部のうち市内の15社



協力の上、地域を旨で後もいて。めた。作

協力のた上、地域を旨で後もいて。めた。作